



リリースノート

V 01.00

初期リリース

V 01.01

機能追加

無し

障害修正

- 1) IPADDR 指定が有効にならない障害の修正
複数 NIC を装着したコンピュータでキャプチャする NIC を指定する IPADDR オプションが特定環境で有効にならない障害を修正
- 2) OS 起動時にキャプチャサービスが自動起動しない障害の修正
OS 起動時にキャプチャサービス(MCCapture)が自動起動しない場合があるため、依存サービスの起動条件をインストール時に再設定するとともに、キャプチャサービスの依存しているサービスが起動してからサービスを開始するよう修正

V01.02

機能追加

- 1) 統計情報機能の高速化
- 2) MailCloset.exe で処理ログを保存

障害修正

- 1) ドメイン名の無いアドレスに対応
ユーザ名のみでドメイン名が無いメールアドレスに対応。統計情報機能の送信/受信ドメイン別ではドメイン名が無いメールアドレスは“localhost”として集計
- 2) ヘッダのグループアドレス表記に対応
RFC2822のグループアドレス表記がヘッダ中にある場合の統計情報機能でハングアップする障害を修正

- 3) 受信者アドレス解析のバッファ制限を除去
- 4) 保存収集データの管理を階層化

V01.03

機能追加

- 1) キャプチャサービスの高速化

障害修正

無し

V02.00

機能追加

- 1) メール検索機能で件名及び添付ファイルの検索機能の追加
- 2) 統計情報でメール通数と容量(Mbyte)の表示機能の追加
- 3) メールトラフィック量が多くキャプチャでパケットロスが発生する場合、キャプチャバッファを変更する機能を追加

障害修正

- 1) メール検索機能：件名及び添付ファイルの検索機能の追加
- 2) 大量のデータの NTFS フォルダのファイル数の上限に対応するために、データフォルダの管理方法を変更
- 3) 古いデータを復元した場合に、既存のデータを誤消去する場合がある障害を修正
- 4) パケットの再送が発生した場合に、不適切なバッファリングが発生する障害を修正

以上